vol.25

金沢政策フォーラム
www.okada-naoki.net

forum

おかだ直樹事務所
（自由民主党石川県参議院選挙区第二支部）
事務局 ／ 〒920－8203 金沢市鞍月4－115
金沢ジーサイドビル４階
TEL.076(255)1931　FAX.076(255)1961
E-mail / okada0609-kanazawa@okada-naoki.net

内閣官房副長官の重責を担う

岡田直樹

令和初の組閣で就任

岡田直樹参院議員は9月11日、第四次安倍再改造内閣の発足に伴い、内閣官房副長官に就任した。令和の新時代を迎えて初の組閣で国家の中枢である首相官邸に入り、安倍晋三首相、菅義偉官房長官を支えて政権の屋台骨としての重責を担うことになる。

官房副長官は首相、官房長官とともに首相官邸に常駐して内政、外交の全般を担当することから、「準閣僚」とも位置づけられる。

岡田直樹は石川県議会議員を経て平成16年7月、参院選で初当選し、現在当選3回。これまでに政府では国土交通政務官、財務副大臣を務め、国会や党務では参院国土交通委員長、自民党幹事長代理、参院幹事長代行などを歴任した。

菅官房長官に代わって記者会見に臨み、質問に答える岡田直樹＝10月7日、首相官邸会見室

国家の中枢で全力

岡田副長官は就任直後から、安倍首相の臨時国会所信表明演説の取りまとめを担当し、官邸の記者会見に立ち、参院予算委員会では蓮舫議員の質問に答弁するなど、首相、官房長官の分身としての役割を果たしている。

危機管理も重要な任務で、北朝鮮弾道ミサイル発射には国家安全保障会議（NSC）で対処し、相次ぐ台風災害では非常災害対策本部に張り付き、不通となった北陸新幹線の復旧にも努めた。

10月22日の「即位礼正殿の儀」の前後には訪日した各国の首脳級と安倍首相の会談に30回余り同席し、外交面での補佐役をこなした。

閣議直後、安倍首相、菅官房長官とともに副大臣会議に臨む岡田直樹　＝9月13日、首相官邸

必中の矢を射抜く

日本と郷土の将来を見据えて

遠く小さな的を見据えて、弓を引き絞り矢を放つように、あすの日本と郷土のために働きたい。岡田直樹ら石川県関係国会議員は結束して日々、戦いに挑んでいる。

参院選勝利！ 衆院は「常在戦場」

令和最初の国政選挙となった7月の参院選では、与党が過半数を大きく上回って勝利した。石川県選出の山田修路氏は大差で再選を果たし、全国比例でも多くの自民党議員の中で宮本周司氏（石川県出身）が再び議席を獲得した。山田氏は参院国会対策副委員長、予算委員会理事に就任し、宮本氏は経済産業大臣政務官として初めて政府入りした。

一方、衆院では文科大臣経験者の馳浩氏（石川1区）が自民党教育再生実行本部長として力を発揮し、佐々木紀氏（石川2区）は国土交通大臣政務官として北陸新幹線延伸など国土の基盤整備に意気込む。西田昭二氏（石川3区）は衆院国会対策委員会で経験を積み、将来を期待されている。

参院選は乗り切ったが、衆院はいつ解散総選挙となるか分からない「常在戦場」の宿命にある。政治の安定なくして国民生活の安定なし。日本と郷土の安全を守り、発展を期して、石川県関係国会議員の活躍が期待される。

弓道の初歩を学び、精神を集中する岡田直樹　＝9月7日、石川県立武道館

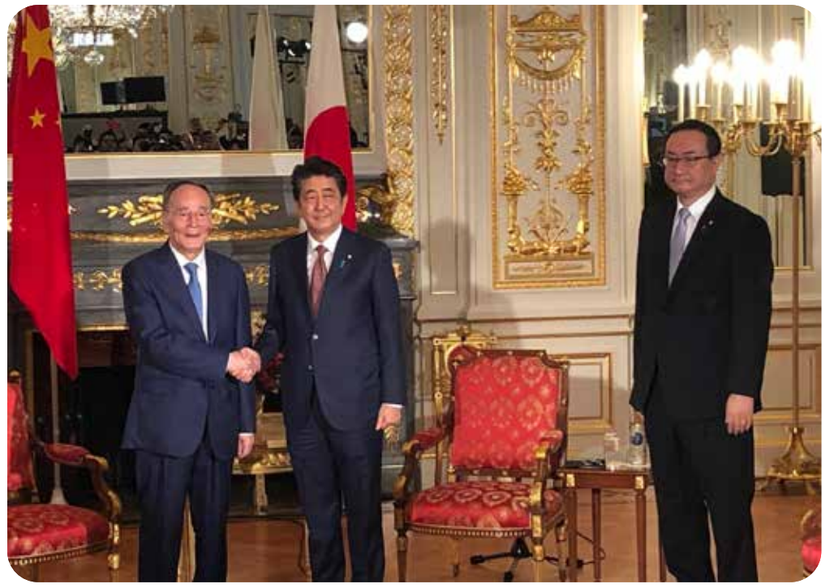
通常国会開会式で気合を込める県関係国会議員＝国会内

内政外交の課題に挑戦　官邸にありて石川思う

多忙極める「服長官」？

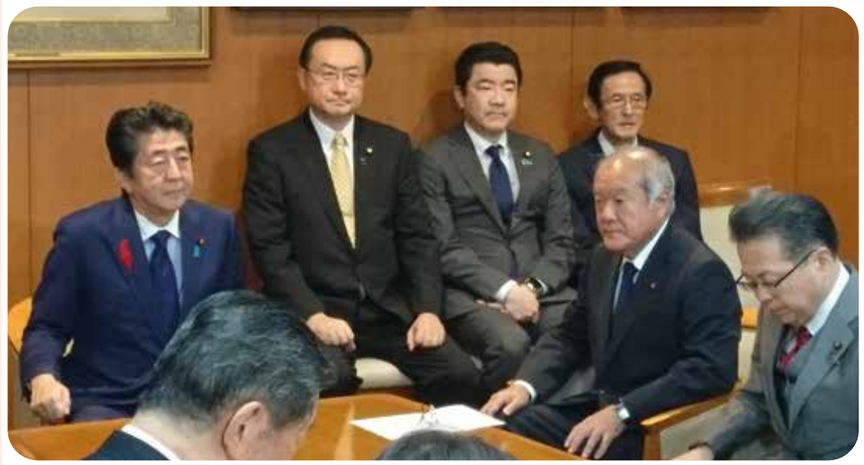
「平日も週末もなく官邸内外を走りながら、ふるさと石川を思い続けている」。内閣官房副長官に就任した岡田直樹は内政、外交の両面で諸課題に向き合い、国会や与党とのつなぎ役も務めている。早朝から深夜まで服を着ているため「副長官は服長官」という洒落もある激務だが、合い間を縫って北陸新幹線や金沢港の建設現場に足を運ぶなど郷土の発展にも心を砕く毎日である。

写真特集　岡田副長官 奔走の日々

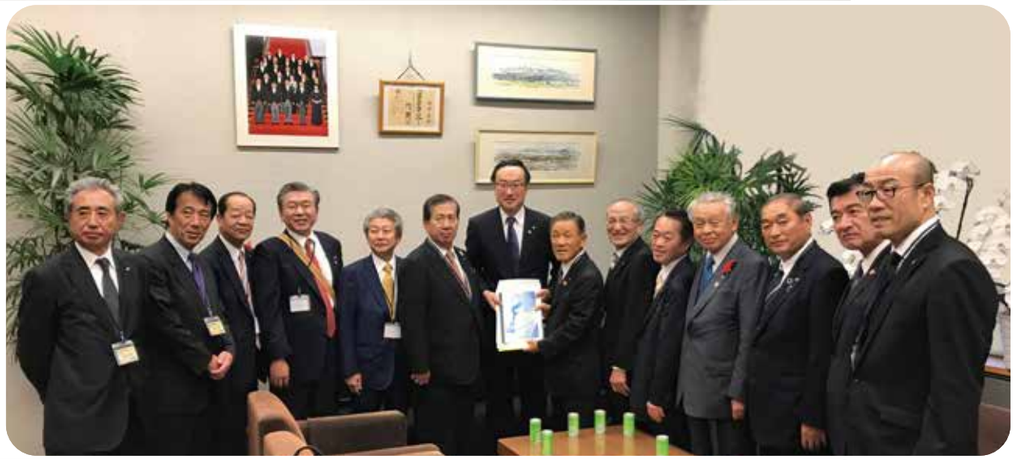


安倍首相と「即位礼正殿の儀」に出席した王岐山中国副主席の会談に同席する岡田直樹。首相の外交をサポートするのも副長官の職責で、海外まで同行する機会も多い
＝10月21日、東京・元赤坂の迎賓館

就任後、初めて石川県入りし、急ピッチで建設が進む北陸新幹線金沢・敦賀間の現場を視察する岡田直樹。右は佐々木紀国土交通大臣政務官
＝10月5日、北陸新幹線手取川橋上



自民党役員会で党総裁である安倍首相の脇を固める岡田直樹。政府と与党をつなぐことも重要な任務である
＝10月1日、自民党本部



石川県内の市長、町長らより社会資本整備の要望を受ける岡田直樹。執務室には国や地元の各界から多くの面会者が訪れる
＝10月29日、首相官邸副長官室

衆院内閣委員会で所信を述べる岡田直樹。衆参両院で内閣を代表して答弁する職責も負っている
＝10月18日、衆院第一委員室

全国各地から日本の美を世界に発信する国家プロジェクト「日本博」の意義を語る岡田直樹。政府主催の各種イベントのまとめ役も務める
＝10月29日、東京・日本橋の百貨店